

滝 呂

たくましく豊かに伸びる滝呂の子ども
 ～考えつくりだす子 はげましあう子 きたえる子～
 4本柱「まんぞく授業」「さきがけあいさつ」
 「ピカピカそうじ」「げんきな体と心」

<http://school.city.tajimi.lg.jp/takiro/>
 2026.2.26 第12号

黄色の傘

校長 鈴木雄詞



今年も滝呂地域民生児童委員協議会の皆様から、新1年生全員に黄色の安全傘をプレゼントしていただき先日の入学説明会で保護者の皆さんにお渡ししました。素敵なおプレゼントは、今年で19年目になります。雨の日でも、黄色い傘があれば、車や自転車から見えやすく、安全に登下校できます。民生児童委員の皆様は、地域の子どもたちが安心して学校に通えるよう気にかけてくださっています。「雨の日も、元気いっぱいの笑顔で学校に通ってほしい」そんな願いをひしひしと感じます。在校生の中には、入学時にいただいた傘を何年も大切に使用している子が何人もいます。雨の日も安全に気を付けて登下校できることをお家の方、地域の方、先生たちも願っています。地域の民生児童委員の皆様、長年にわたる温かいご支援、本当にありがとうございます。皆様のご厚意に、心より感謝申し上げます。

子どもたちを、支えて、支えて、支えてまいりましょう

先日の新入生保護者説明会の場で、私は保護者の皆さんに3つのお願いをいたしました。

1. 挨拶のできる子にしましょう

人と人があいさつを交わすことで生まれる温かさや清々しさを知らぬまま青年期へと移行していく児童生徒を、これまでも多く見してきました。

「おはようございます、ってきます、こんにちは、さようなら、ただいま、おやすみなさい」という日常的な挨拶に加え、

「ありがとうございます、いただきます、ごちそうさま、ごめんなさい」

というその場その場のあいさつは、人を想い想われる大切なキーワードです。

2. 周りの人にやさしくできる子にしましょう

まだまだ人として未熟な子供たちです。当然、自分のことを中心に物事を進めます。しかし、6年間通う中で、だんだん周りの人の気持ちに寄り添い寄り添われる関係づくりを味わわせたいものです。

3. 勉強をがんばる子にしましょう

何とんでも学校は勉強をするところです。

「分からない→めんどくさい→むり→どうせ自分なんてだめな人間」ではなく、

「分かった→もっとやりたい→おもしろい→自分って天才？」

と思えたほうが、幸せですね。どの子も6年間の中で必ず「壁」に当たります。

それは少なからず困難で、苦しく、悲しく、つらいものでしょう。お子さんが「壁」に当たった時、「壁」を親が取り除くのではなく、お子さんが自力で乗り越えられるように支えてほしい。そのお手伝いをするのが私たち学校です。一緒に子どもたちを、支えて、支えて、支えてまいりましょう。共に頑張りましょう。

(学校HP→)

